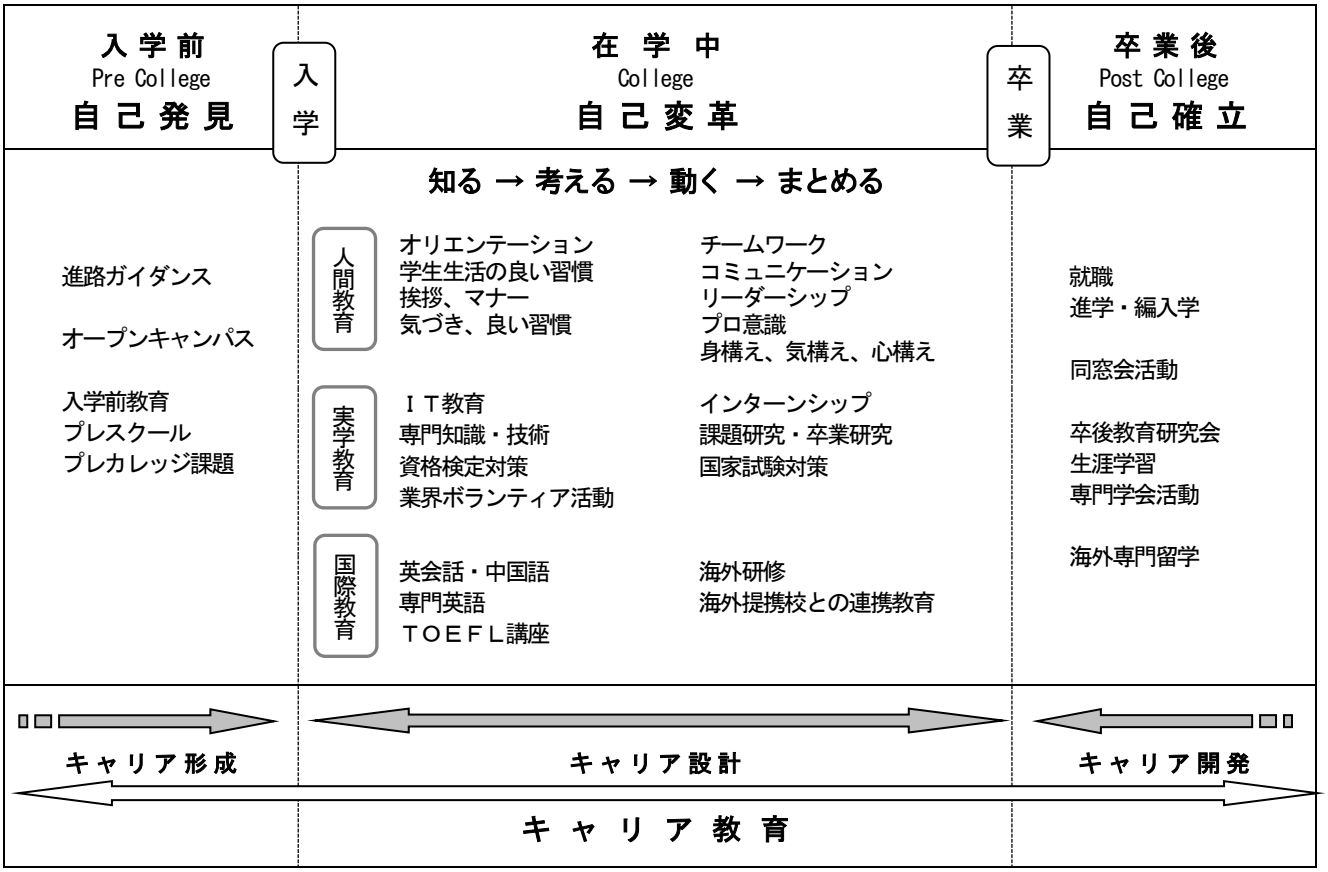
教育システムと教育スケジュール

１．教育指導システム



本校の教育システムは、建学の理念である「実学教育」「人間教育」「国際教育」に基づき、入学前から在学中、卒業後まで連続したステップアッププログラムとして構築されている。

第一段階である入学前は、入学までの様々な教育や体験を通して、「将来このような人物になりたい」という将来の目標を見いだす『自己発見』の時期である。この時期は、進路ガイダンスやオープンキャンパスなどを通して進路決定を行う、自身の進むべき道を考える『キャリア形成』の時期でもある。入学決定後は、入学までの期間をプレスクールへの出席やプレカレッジ課題などの入学前教育に取り組み、有意義に過ごせるようになっている。

第二段階である在学中は、専門分野のスペシャリストとして社会に巣立つまでの『自己変革』の時期である。入学してすぐのオリエンテーションでは、学生生活を有意義に過ごすために良い習慣（自分の意志で行動する習慣、目標や計画を持って行動する習慣、将来のために準備する習慣）を身につけることを学び、また挨拶やマナーの重要性について理解する。さらに、専門的な知識・技術の習得、資格の取得はもちろんのこと、学外実習や卒業研究などを通して、チームワークの大切さを知り、コミュニケーション力を養って、社会人となるための身構え・気構え・心構えを確立していく。また、外国語教育や海外研修などを通じて、国際的に通用する広い視野を学んでいく。この在学中の時期は、卒業後の生き方や働き方、学び方を考え、将来設計していく『キャリア設計』の時期である。学習内容や資格取得をはじめ、学生生活そのものが卒業後の人生につながることを意識して、悔いのない学生生活を送ってほしい。

学生生活の基本は、生活習慣と学習習慣である。特に入学後早い時期に学ぶ基礎科目は、主要な資格や卒業後の専門分野につながる重要な科目であるので、怠りなく取り組んでほしい。また、在学期間中の様々な学校行事

はそれぞれに目的を持って組み立てられているので、その意義を理解して積極的に学生生活を送ってほしい。

教育システムの第三段階は、卒業後の『自己確立』の時期である。在学期間中に習得した知識や技術は、専門分野で活躍する土台となるものであるが、卒業後も継続して学び、向上していくことが大切であることは改めて言うまでもない。本校では同窓会を中心に、卒後教育についても充実を図っている。また、滋慶医療経営管理研究センターでは、卒業生や業界で働く人々を対象にした生涯教育の様々な教育プログラムを実施しているので、これらを積極的に活用して、プロのスペシャリストとして活躍することを期待する。このように、卒業後の期間は、在学中に計画した自分自身のキャリアをさらに発展させる『キャリア開発』の時期とも言える。生涯にわたって自分のキャリアを育て、成長し続けられるよう、学園として支援体制を整えている。

本校では、入学前から卒業後までを一貫した「キャリア教育」として捉え、学生個々人の生き方、学び方、働き方を支援しているので、充実した学生生活を送れるように努力を重ねてほしい。

２．海外研修プログラム

本校ではカリキュラムの一環として、海外研修プログラムを取り入れている。このプログラムの目的は、海外における技術教育と実務の現状を実際に体験して、現在学んでいる知識や技術の重要性を再認識するとともに、国際交流を通じて豊かな人間性を育むことである。

３．生涯教育システム

学校法人大阪滋慶学園では、高度職業教育の一環として「滋慶医療科学大学・大学院」を設置し、卒業生のキャリアアップを支援している。患者の安全を守り、医療の質の向上を図ることを目的とした、医療安全管理の専門職を養成する医療安全管理学修士課程であり、一定のキャリアを積んだ専門学校卒業生にも入学資格がある。

また「滋慶医療経営管理研究センター」では、在校生、卒業生、業界の方々や地域の方々を対象とした生涯教育の機会を提供している。卒業生にとっては、日々変化を続けている業界における最新の知識や技術の再教育の場であり、またより高度な資格を取得する場ともなっているので、大いに活用してもらいたい。

４．大学編入

本校では、学生の卒業後の進路指導の一環として、大学編入への対策指導を行っている。専門学校での学習をもとに、大学に編入学してより深く知識を学習しようという意欲がある学生に対して、本校よりさまざまな資料を提示し、進路の選択を援助している。編入学希望の学生は、クラス担任および保護者と相談の上、早期より準備を進めることが必要である。